

先週末までのマーケット動向(4月18日~4月22日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,230.0	1,245.4	1,229.5	1,239.1	+9.5
JPY/KRW	9.7141	9.7551	9.5778	9.6805	▲0.034
KOSPI	2,685.04	2,737.54	2,681.37	2,704.71	+8.65

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。欧米主要国が三連休と明けとなった18日は1,230.0ウォンでオープン。週前半は、原油価額や米金利の上昇を受けてドル買い優勢となる中、ドル/ウォンも底堅く推移。19日海外時間にはFED高官による経済への楽観的な発言も相まって、ドル/ウォンは1,241.0まで上昇した。その後、外国人投資家による韓国株式の買い戻しや、上昇続きだった米金利が若干反落したことで、ドル/ウォンもやや反落。しかし週後半にかけては、FRB、ECBの複数の高官から利上げを急ぐ旨の発言が相次ぐと、再び米金利は上昇。さらにロックダウンに嫌気した中国株の下落の影響等もあり、ドル/ウォンは年初来高値となる1,245.4まで上昇した。結局、先週末対比9.5ウォン上昇した1,239.1ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは動意に乏しい展開を予想する。相次ぐFED高官の発言を受け、市場は今後4回のFOMCにてそれぞれ50bpの利上げが行われることを織り込んだ状況だ。しかし、高インフレに厳しい姿勢をとる一部FOMC参加者からは75bpの利上げを示唆する発言も出ており、一段の米金利上昇には警戒が必要だろう。一方で今週は月末週であり、実需のウォン買いも相応に見込まれるほか、1,250付近では当局介入による警戒感もあり、他通貨対比ウォンは買われやすいだろう。かかる状況下、ドル/ウォンはFOMCを前に方向感が出にくく、既存レンジで推移する展開となろう。

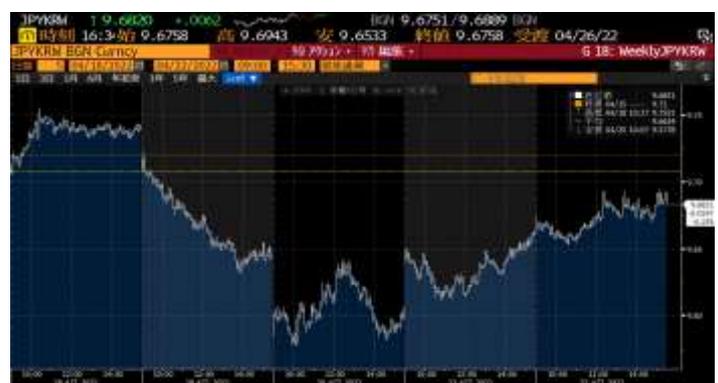
予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1230 ~ 1255	9.50 ~ 9.80	127.7 ~ 129.7

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 26日(火) 米 3月 耐久財受注 速報値
米 3月 新築住宅販売件数
日 3月 失業率
米 4月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 28日(木) 韓 1Q GDP 一次速報
日 3月 鉱工業指数 速報値
米 1Q GDP 一次速報
日 BOJ 政策金利発表
- 29日(金) 米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
米 3月 個人所得
米 3月 個人消費
欧 1Q GDP 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。